

報道関係者各位

2026 年 9 月 29 日

株式会社東陽テクニカ

東陽テクニカ、フランス・Miratlas 社と国内独占販売代理店契約を締結

光衛星通信向け地上局の最適な選定・運用を支援する

気象モニター「Sky Monitor」を提供開始

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：高野 俊也^{こうの としや})は、光衛星通信向けの大気観測システムを開発する Miratlas S.A.S (本社：フランス、CEO：Jean-Edouard Communal (ジャン＝エドゥアール・コムナル)、以下 Miratlas 社)と日本国内における独占販売代理店契約を締結し、2026 年 9 月 29 日より、同社が製造・販売する気象モニター「Sky Monitor(スカイモニター)」の販売を開始します。

「Sky Monitor」は、光衛星通信の通信品質を左右する気象条件を継続的に監視できる大気観測システムです。複数の地上局候補地における観測データの集約・分析を通じて、通信に適した地上局の選定や運用を支援します。東陽テクニカは、本製品の提供を通じ、国内における光衛星通信の実用化に貢献してまいります。

【 背景／概要 】

光衛星通信は、電波の代わりにレーザー光を使って衛星と通信する技術です。電波を使った通信に比べて通信容量を大幅に増やせることから、次世代の衛星通信技術として期待されています。一方、衛星と地上を結ぶ通信経路は、レーザー光が雲によって遮られるという制約があり、実用化に向けた研究開発が進められている段階です。実用化に向けては、光衛星通信用の地上局を複数の拠点に設置し、その中から大気条件の良い地上局を選択して通信を行う方法が検討されています。そのため、大気の状態を継続的に把握し、通信に適した地上局を選択できる環境が求められます。



気象モニター「Sky Monitor」

東陽テクニカはこのほど、光衛星通信向けの大気観測システムの開発・製造・販売を手掛ける Miratlas 社と国内における独占販売代理店契約を締結することで、光衛星通信分野における計測ソリューションを拡充し、地上局の調査・設計・運用を支援する体制を強化します。

Miratlas 社が製造・販売する「Sky Monitor」は、光通信の品質を左右する雲量、大気乱流、大気吸収に加え、気温、湿度、風、雨などの一般気象も、一つのシステムで継続的に測定できる屋外設置型の気象モニターです。「Sky Monitor」によって大気状態を把握することで、通信可用率の評価、設備設計、通信可能時間の予測に活用できます。さらに、昼夜を問わず、連続的かつ自律的な観測ができ、取得したデータはダッシュボード

上でリアルタイムに確認することが可能です。こうして各拠点での「Sky Monitor」による観測結果を集約・分析することで、通信条件が良い地上局を選択する「サイトダイバーシティ」運用を支援します。

東陽テクニカは、光衛星通信の地上局を設置・運用する事業者や、光衛星通信の研究開発に取り組む機関を中心に、「Sky Monitor」を提供することで、最適な地上局の調査・選定、運用までを計測技術で支え、光衛星通信の実用化に貢献してまいります。

【「Sky Monitor」の主な特長】

- ・雲量、大気乱流、大気吸収を一つのシステムで測定
- ・気温、湿度、風、雨などの一般気象も継続して観測
- ・昼夜を問わない自律観測に対応した屋外設置型システム
- ・取得したデータをダッシュボードで確認可能
- ・光地上局の候補地比較、通信利用率の評価、設備設計、通信可能時間の予測に活用
- ・複数地点の観測結果にもとづくサイトダイバーシティに対応

【製品データ】

- ・製品名：気象モニター「Sky Monitor (スカイモニター)」
- ・販売開始日：2026 年 9 月 29 日
- ・販売価格：要お見積り
- ・製品ページ URL：<https://www.toyo.co.jp/emc/products/detail/id=47281>

【展示会出展情報】

東陽テクニカは、本ソリューションを 2026 年 11 月 10 日(火)より、ライトキューブ宇都宮で開催される「第 70 回宇宙科学技術連合講演会」にてご紹介予定です。

開催展名：第 70 回宇宙科学技術連合講演会

会期：2026 年 11 月 10 日（火）～11 月 13 日（金）

場所：ライトキューブ宇都宮

イベント URL：<https://smartconf.jp/content/sstc70>

<Miratlas S.A.S について>

Miratlas 社は、フランス・ペルティエに拠点を置き、大気特性を計測する機器と、そのデータおよびモデリングの開発・製造・販売を手がけています。雲量、大気乱流、大気吸収といった光通信の品質を左右する要素を昼夜連続で観測する技術を強みとし、光地上局の候補地選定から運用までを支援しています。

Miratlas 社 Web サイト：<https://miratlas.com/>

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、最先端の“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、技術革新を推進しています。その事業分野は、脱炭素／エネルギー、先進モビリティ、情報通信、EMC、ソフトウェア開発、防衛、情報セキュリティ、ライフサイエンス、量子ソリューションなど多岐にわたり、グリーンエネルギーや自動運転の開発などトレンド分野への最新計測ソリューションの提供や、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力しています。新規事業投資や

M&A による成長戦略のもと国内外事業を拡大し、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト : <https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

ニュースリリースに関するお問い合わせ :

株式会社東陽テクニカ 経営企画部 広報・マーケティンググループ

TEL : 03-3279-0771(代表) E-mail : marketing_pr@toyo.co.jp

本ソリューションに関する Web ページ : <https://www.toyo.co.jp/emc/products/detail/id=47281>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。